

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

団体名：草津市国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	日本語教育における地域連携と多文化共生推進に向けて(継続事業の2年目)
事業の目的	平成27年度に引き続き日本語教育の側面から多文化共生の推進に取組みました。 今年度はその事業を継続し、昨年度出来なかった課題を拾い出すのと同時に、外国人住民の声を拾上げ行政につないで行きました。 又、草津市内の日本語教育運営体制の整備を確実にし、市内各団体との協力体制を構築しました。 行政の協力体制を整備するために広く市民への周知に重点を置きました。 日本語教育を中心とした多文化共生を推進していくために中心的な役割担当部署を明確にし、多面的な連携をネットワーク化しました。 さらに日本語教育支援者の教育を充実させていきました。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	1年間の活動を通じて地域の実情・課題が明らかになってきた。 1. 行政の外国人住民の窓口は市役所内で決められたが、日本語教育を担当する部署がない点が解決されていない。 行政は多文化共生推進プラン策定には消極的であり市役所内の連携が全く出来ていない。 2. 日本語教育支援者の研修会については、H27年度は同じ研修内容で対象者のニーズに合わせ曜日を变えて実施したので、初心者には難しかったという声がでた。新しい支援者を確保する内容の研修を検討する。 3. 生活者の本当に必要な所にまだ日本語教育が届いていない。広報や連携等体制の整備が不十分であった。 4. H27年度は全国タプマネ協議会等の協力を得てシンポジウムは開催できたが、当初目的とした地元自治会活動への広報が十分に行えなかった。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	地域の実情・課題に述べた内容を解決する為に下記で取り組みます。 1. 運営委員会は昨年同様・日本語教育ネットワーク会議においては多文化共生の推進を図るため行政中心に地域の団体と広く連携できるようなメンバーを選任する。外国人住民のニーズを深堀し、日本語教育の必要性を明らかにすると同時に、行政参加者に日本語教育担当部署の必要性を理解してもらいます。 2. 日本語教育支援者の研修会は、入門編とステップアップに分けて実施し、新しい人材確保に努めると同時に理解者を増やします。 3. さらに充実した生活者のための日本語教室を実施していくため、セミナーを入れたり、草津の地域性を知るための実践的内容も取り入れます。また3教室の内のオリープはその活動の自主性を尊重し再委託事業として取組んでもらいます。 4. 事業の幅広い市民の周知の方法として今年度は、毎年草津市国際交流協会が開催している「新春のつどい」を「多文化共生フェスティバル」と位置付け、直接外国人が参加でき彼らが地域で活躍する場を創出します。例年のイベントのパワーアップで周知の実効性を高めます。
事業の実施期間	平成28年5月～平成29年2月 (10か月間)

2. 事業の実施体制

(1)運営委員会

【運営委員】

1	井上 哲也	立命館大学地域連携室課長
2	金網 蓉子	びわこ日本語教育ネットワーク 代表
3	青木 敏高	草津人権センター 所長
4	服部 英亜	草津市役所まちづくり協働課 グループ長
5	楠見 丹生子	草津市役所教育委員会 副参事
6	重松 観子	日本語教室「シブス」代表
7	恩地 美和	日本語教室「オリープ」代表
8	中西 まり子	草津市国際交流協会副会長 日本語教育地域コーディネーター
9	浦 幹夫	草津市国際交流協会 事務局長



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年 5月23日(月) 10:00～12:00	2時間	草津市役所 「201会議室」	金網 蓉子 服部 英亜 青木 敏高 楠見 丹生子 恩地 美和 重松 観子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 参加者の課題認識 2. 取組2「日本語教育支援者研修」 ・やさしい日本語を実施し、行政職員向けに出来ないか？ ・模擬授業を取入れ、参加者の評価を聞く 3. 取組3「日本語教室」 ・各教室の具体策を早急にまとめる 4. 取組4「多文化フェスティバル」 ・「外国人会議」「UDCBKとのセミナー」を具体化する
2	平成28年 6月27日(月) 10:00～12:00	2時間	草津市役所 「402」会議室	井上 哲也 服部 英亜 青木 敏高 楠見 丹生子 恩地 美和 重松 観子 中西 まり子 浦 幹夫 (オブザーバー) KIFA会長 南 啓次郎	1. 取組2について ・初級は3回コース×2(火、木)として段林さん担当 ・上中級は3回とし船見さんが担当+やさしい日本語 2. 取組3「日本語教育支援者研修」 ・KIFA・オリープの計画案の確認 3. 取組4「多文化フェスティバル」 外国人会議を「議員と語る場」の設定にしたい ・UDCBKは今後の日本語教室の拠点と考えられるので前向きに対応
3	平成28年 9月14日(木) 10:00～12:00	2時間	草津市役所 「201会議室」	井上 哲也 服部 英亜 楠見 丹生子 恩地 美和 重松 観子 中西 まり子 浦 幹夫	1. 第3回ネットワーク会議議事録の確認 2. 「多文化フェスティバル」について ・名称を「Worldたぶんカフェ・フェスティバル」とする ・参加者数の確認(市議員への参加勧誘を進める) 3. UDCBKセミナーとの協力内容確認 4. 取組2「日本語教育支援者研修」の内容の確認 5. 取組3「日本語教室」 ・KIFA・オリープの詳細計画の確認

4	平成28年 11月14日(水) 13:30～15:30	2時間	草津市役所 「704会議室」	井上 拓也 青木 敏高 中西 まり子 浦 幹夫	1. 取組2「日本語教育支援者研修」の実施状況の確認 2. 取組3「日本語教室」 ・KIFA／オリーブの教室の実施状況確認 ・共催で外国人が地元を語る「じもとーく」と言うイベント企画して実施予定 3. 「Worldたぶんカフェ・ファイナル」 ・事前のたぶんカフェ3回の内容確認と発表者の確認 ・草津市議会議員の参加者の確認と参加方法討議した ・ファイナル内容のネットワーク会議の決定事項を確認の上、承認した ・広報の方法について最終確認をした
5	平成29年 2月16日(木) 10:00～12:00	2時間	草津市役所 「市政相談室」	井上 拓也 青木 敏高 楠見 丹生子 恩地 美和 中西 まり子 浦 幹夫	各事業の実施内容を確認したうえ、課題を整理した ①取組1:運営委員会との役割の明確化が必要 ②取組2:目的を「新規参加者獲得」が「現有支援者のレベルアップ」であるかを明確にして次年度は取組 ③取組3:体験型教室は参加者も多く好評であったので次年度も継続 ④取組4:セミナーは参加者層も広がり効果はあった 全体として、今年度事業は目的を達したと考えられる 最後に各委員より1年間の活動を振返ってのコメントを受けた

(2)地域における関係機関・団体等との連携・協力

□ 連 携 体 制	平成27年度事業に引続き草津市内で日本語教室を運営する代表者3名(恩地、重松、中西)に参画してもらい、在住外国人のニーズを共有して教室運営に当たってもらいます。 外部有識者の目線も大事ですので、大学関係者、滋賀県内日本語教育ネットワーク関係者にも加わってもらいます。 行政内部より地域住民への認知度のアップのためにも、市民活動窓口の担当者にもメンバーに加わってもらいます。 この運営委員会での検討事項をより具体的に展開していくためにも、ネットワーク会議には、より広い範囲で行政関連機関、議員、外国人を雇用している企業担当者にも参画していただき、幅広い方々の意見が聞ける連携体制を構築します。
-----------------------	--

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本 事 業 の 実 施 体 制	事業の実施順序に従って、中核メンバーの役割りについて記します。 1. 運営委員会にはメンバー3名が参加して課題の抽出にあたり、事業全体の方向付を行います。 2. 「日本語教育ネットワーク会議」には、中西、恩地がコーディネーターとして加わり、重松は日本語教室責任者の立場から現状を伝え、浦は事業担当者として参加し、関係各部署との調整を図り、事業詳細の決定までを行っていきます。 3. 日本語教育支援者の研修は、恩地がコーディネーターとして、中西・重松は講師補助者の立場で参加し、受講者全体の交流、ネットワーク作りを補助します。 4. 日本語教室の実施には中西、恩地がコーディネーターとして事業全体を企画した後、中西、恩地、重松は各教室の日本語教室に参画し、新しいニーズに合わせた教室を展開し必要に応じて講師、補助者として教室運営に加わっていきます。 5. 多文化共生フェスティバルは中西がコーディネーターとして、計画立案・講師決定・会場予約・集客方法・広報等を他のメンバーと分担していきます。
--------------------------------------	--

3. 各取組の報告

＜取組1＞									
取組1	取組の名称		日本語教育を中心とした多文化共生における地域連携のためのネットワーク会議						
	取組の目標		運営委員会の課題目標を確認した後、具体的な「生活者としての外国人」のニーズを把握するための「日本語教育ネットワーク会議」を設置して、ニーズを確認すると同時に各団体との連携を強化します。特に今年度は行政での日本語教育を担う多文化共生推進担当窓口設置の必要性および具体的施策の立案を目標にします。						
	取組の内容		「日本語教育ネットワーク会議」のメンバーとしては、昨年に引続き大学関係者・草津市行政担当課の担当者・各教室の代表者・企業担当者の他に市議員や県の関係部署担当者と外国人住民代表者等に参画してもらい、草津の地域日本語教育を含む多文化共生のあり方についても検討します。 1. 最大の目的は様々な活動をしている人達が多文化共生のための日本語教育という目的で繋がることであり、又お互いの交流を図ることも重要です。 2. 日本語教育のニーズに関しては各教室への参加者により異なると思うので、各教室の自主性を重んじ内容を決めていきます。 3. 今年度も実施したように、事業期間中でも必要に応じて会議を開催し内容やテーマの追加・変更を検討していきます。 4. 特に今年度は草津市内13学区のまちづくり協議会への、多文化共生のための日本語教育の必要性の認知を重要課題として取組んでいきます。 5. 行政に日本語教育担当部署の設置の必要性を理解してもらい具体的な検討を進めます。						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		「日本語教育ネットワーク会議」の開催により、地域の幅広い層に日本語教育の実体を知ってもらう機会が増えるし、特に今年度の重点課題の市内住民への、外国人への日本語教育の必要性の認識に役立ち、多文化共生の足掛かりとその体制整備に寄与できる。						
	取組による日本語能力の向上		外国人住民が本当に必要としているニーズを把握しての開催となるので、日本語教室開催の効果は大きい。						
	参加対象者		大学関係者・行政担当者・市議会議員・外国人・企業代表				参加者数 (内 外国人数)	13人 (2人)	
	広報及び募集方法								
	開催時間数		総時間 10時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		立命館大学・草津市役所・草津未来研究所・草津市議会・パナソニック・						
	開催場所		草津市役所・市民交流プラザ「UDCBK」						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		1							1
		日本人 11名							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	出席者	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成28年 6月9日(木) 13:30～15:30	2	草津市役所 「教養室」	12名 宮下 聖史 光田 展子 溝内 辰夫 服部 英亜 早佐 美希 廣畑 諭 千葉 富雄 劉 芳影 恩地美和 鶴田 真理子 中 西 まり子 浦 幹夫	課題の洗い出し	1. 運営委員会とネットワーク会議の位置付の確認(役割の認識) 2. 取組2「日本語支援者研修会」 ①具体的な10回の講座内容検討 3. 取組3「日本語教室」 ①オリーブ教室の具体案検討 ②KIFA教室案について、広報の効果上げる方法検討 4. 取組4「多文化共生フェスティバル」 ①外国人会議のイメージ確認 ②UDCBKとの関係確認			
2	平成28年 7月11日(月) 10:00～12:00	2	草津市役所 「502会議室」	9名 宮下 聖史 光田 展子 溝内 辰夫 服部 英亜 西垣 和美 劉 芳影 鶴田 真理子 中 西 まり子 浦 幹夫	各取組2, 3, 4の具体策の検討	1. 取組2「日本語支援者研修会」 ①初級、中上級の講師の決定と事前打合せ内容検討 2. 取組3「日本語教室」 ①各教室の進捗状況確認 ②シブスメンバーの協力方法確認 3. 取組4「多文化共生フェスティバル」 ①KIFA新春のつどいとの関係確認 ②UDCBKとの共催イベント開催の確認 ③外国人会議への市議員参加方法検討 ④ワークショップの実施検討			

3	平成28年 9月5日(月) 13:30～15:30	2	草津市役所 「101会議 室」	11名 宮下 聖史 溝内 辰夫 服部 英亜 廣畑 諭 西垣 和美 早佐 美希 劉 芳彰 恩地 美和 鶴田 真理 子 西 まり子 浦 幹夫	各取組2, 3, 4の具 体策の検討	1. 取組2「日本語支援者研修会」 ①次年度課題の検討 2. 取組3「日本語教室」 ①各教室の進捗状況確認 ②UDCBKとの共催教室検討 3. 取組4「Worldたぶんカフェ・ファイ ナル」 ①事前セミナー3回の婦負用検討 ②市議員参加方法の検討 ③イベント名称の検討 ④ワークショップの内容検討		
4	平成28年 10月17日(月) 13:30～15:30	2	草津市役所 「402会議 室」	9名 宮下 聖史 光田 展子 西垣 和美 早佐 美希 劉 芳彰 恩地 美和 鶴田 真理 子 西 まり子 浦 幹夫	各取組2, 3, 4の具 体策の検討	1. 取組2「日本語支援者研修会」 ①実施状況の確認 2. 取組3「日本語教室」 ①各教室の進捗状況確認 ②オリーブ教室追加「じもトーク」内容 検討 3. 取組4「多文化共生フェスティバ ル」 ①名称「たぶんカフェ・ファイナル」に 決定 ②イベント形式はWorld Cafeで進める ③UDCBK事前セミナー内容確認 ④市議員参加呼びかけ方法の検 討 ⑤タイムスケジュールの確認 4. その他 ①追加第5回の会議を開催を決定		
5	平成28年 12月2日(金) 17:30～19:30	2	市民交流プラ ザ UDC BK	9名+1名 宮下 聖史 光田 展子 西垣 和美 溝内 辰夫 早佐 美希 劉 芳彰 鶴田 真理 子 西 まり子 浦 幹夫 (オブザーバー) UDCBK 澤 田	各取組2, 3, 4の具 体策の検討	1. 取組2「日本語支援者研修会」 ①実施状況の確認 2. 取組3「日本語教室」 ①UDCBK共催(やさしい日本語サロ ン)内容検討 3. 取組4「Worldたぶんカフェ・ファイ ナル」 ①事前セミナー3回の内容確認 ②発表者検討(内容も) ③市議員参加方法検討 ④イベント内容検討 ⑤イベントスケジュールの確認 ①追加第5回の会議を開催を決定 4. 今年度事業のふりかえり 5. 次年度に向けて		

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第2回 平成28年7月11日】

第2回のネットワーク会議の状況

取組2, 3, 4の3イベントについての詳細内容を議論した

特に取組4は今年度新規の取組であるので、各自の考えを討議してイベント自体のイメージが出来るようにした

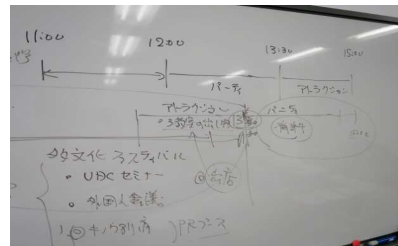
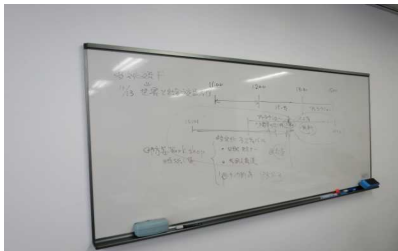


○取組事例②

【第3回 平成28年9月5日】

第3回ネットワーク会議での検討内容

取組4の「Worldたぶんカフェ・ファイナル」の内容についてのスケジュールの検討を厳密に行った



(2) 目標の達成状況・成果

ネットワーク会議では、幅広い層の方が参加して頂いた。(外国人住民、大学、滋賀県国際協会、企業、草津市まちづくり協働課、草津市教育委員会学校教育課、草津市社会福祉課、草津市未来研究所、草津市会議員)

特に行政よりの参加者が前年度より増加し、事業の遂行に非常に好都合であった。

草津市会議員が参加してくれたことの効果は大きく、取組4には草津市会議員24名中12名が参加されるという大きな成果となった。

回数も4回の予定で進めていたが、特に取組4の内容検討に時間が掛り、急遽第5回を設定して対応した。

(3) 今後の改善点について

次年度も今年度同様に幅広い層よりの参加者を募りたい。

特に滋賀県庁国際室よりの参加を交渉し、ネットワークが大きく広がる方向で進めて行きたい。

ネットワーク会議の設立意味である、各事業の詳細計画の立案時に幅広い層の意見を入れて行く事、事業の実施にあたっては積極的に参加いただく事、を十分に反映できる会議計画を立てる事が必要です。

これにより計画を目的通りに実現して行けることであるので留意する。

＜取組2＞									
取組2	取組の名称		「日本語教育支援者の研修」						
	取組の目標		平成27年度実施したステップアップ研修会では、受講者のニーズに合わせて日曜教室、火曜教室に分けて4回の授業を実施し、最初と最後に合同の研修会を実施したが、初心者よりはレベルが高かったとの話もあったので、今年度は入門編とステップアップの両方に分けての開催とし、新しい理解者と幅広い人材の確保を目指していきます。特に今回は入門編を入れる事により、新規支援者の確保にも重点を置いて活動します。						
	取組の内容		日本語教育支援者のステップアップ研修会を開催します。 1. 参加者は「オリーブ」「シップス」「KIFA」に登録している日本語教育支援者を中心に募集します。 2. 参加者の増加を図るために、草津市に限定せず近隣の国際交流協会に呼びかけ参加者を募ります。 3. 2時間の授業を10回計画し、入門編とステップアップ研修に分けて行います。 4. 指導者としては入門編は段林さん、ステップアップ研修は船見さんに担当をお願いします。						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		平成27年度の研修会で、3教室に参加している支援者の交流が広がり始め、新規の人達の中より各教室のボランティアスタッフへの参加者が出るなど体制の整備は進みだしている。 今年度は更なる交流に広がり、新規参加者の確保に重点を置いた研修会としていきます。						
	取組による日本語能力の向上		日本語支援者の研修により、支援者が外国人に日本語を教える事の必要性、重要性の認識が進み支援者のモチベーションアップに繋がっている。 その事は日本語教室の質の向上に役立っている。						
	参加対象者		日本語教育に関心のある方すべてで制限は設けない				参加者数 (内 外国人数)		89人 (人)
	広報及び募集方法		市内3教室の支援者には各教室より全員参加で呼びかける。一般参加者は広報くさつで通知する。						
	開催時間数		総時間 20時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		オリーブ、シップス、びわこ日本語ネットワーク、滋賀県内近隣の国際交流協会						
開催場所		草津市まちづくりセンター							
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		日本人(89人)、							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成28年9月8日 (木) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	22	「これだけは、何が何でも」	1. 日本語を教える前に必要な知識 2. 動詞の活用／自動詞と他動詞		段林 ひろみ	高市 寿美子 高橋 小百合
2	平成28年9月11日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	29	「これだけは、何が何でも」	1. 日本語を教える前に必要な知識 2. 動詞の活用／自動詞と他動詞		段林 ひろみ	重松 叡子 辻 恵子
3	平成28年9月15日 (木) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	16	「できればこれも」	1. 形容詞について 2. 格助詞の働きについて		段林 ひろみ	川辺 佐登美 内田 幸夫
4	平成28年9月18日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	27	「できればこれも」	1. 形容詞について 2. 格助詞の働きについて		段林 ひろみ	中川 正幸 豊村 信良
5	平成28年9月25日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	19	「ゼロ初級の人との遭遇」	1. 楽しく教えましょう 2. 参加者による模擬授業体験		段林 ひろみ	千野 真里奈 前田 智代
6	平成28年9月29日 (木) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	29	「ゼロ初級の人との遭遇」	1. 楽しく教えましょう 2. 参加者による模擬授業体験		段林 ひろみ	竹井 治 長岡 久美子
7	平成28年10月23日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	35	「やさしい日本語講座」	1. やさしい日本語の作り方 2. ワークショップによる体験授業		船見 和秀	小春 京子 久保 千草
8	平成28年11月6日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	26	「0から初級前半の学習者を教えるには！」	1. 格助詞「に／で／を」 2. 語形変化を楽しく		船見 和秀	内田 幸夫 西川 真由美
9	平成28年11月12日 (土) 14:00～16:00	2	草津まちづくりセンター	23	「初級後半の学習者を教えるには！」	1. 順序立てて話す 2. 相槌名人		船見 和秀	中西 利夫 草川 たづ子
10	平成28年11月20日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくりセンター	20	「中・上級の学習者を教えるには！」	1. ロールプレイ 2. 新聞記事を加工してみよう		船見 和秀	豊村 信良 田中 京子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第4回 平成28年9月18日】

段林さんによる「できればこれも」をテーマにした授業風景。

参加者も参加できるワークショップ形式にしたので、参加者の意識が高く維持できた良い授業であった。



○取組事例②

【第9回 平成28年11月12日】

船見先生による「初級後半の学習者を教えるには」をテーマとした授業。

ロールプレイを取り込んだ授業であり、参加者も積極的に発言していた。



(2) 目標の達成状況・成果

前年度の研修会に比較し、前半講座は初級・中級の人対象で研修を行い、平日対象と休日対象に分けて、幅広い対象者に向くように工夫した。各回共に20名を越える参加者があり好評であった。

7回目の研修は「やさしい日本語研修」を行い、行政にも呼びかけた結果35名の参加者が確保できた。

後半は「〇初級の人への対応」「初級後半者への対応」「中・上級者への対応」と対象者別の研修会とした。

草津市の3つの日本語教室の交流・連携が図れたし、新規のスタッフ参加者が各教室で確保でき、その効果は大きかった。

(3) 今後の改善点について

本研修の目的は、「新規参加者の獲得」と「現有支援者のレベルアップ」にあると思うが、昨年と今年度は現有支援者のレベルアップが主体の研修会となっていたので、次年度の研修会は「新規参加者の獲得」を主眼にして取組みたいと考えます。

平日参加可能者と休日参加可能者では対象者が異なるので、開始前に特に新規希望者のニーズが反映できるような計画を立てたい。

＜取組3＞										
取組3	取組の名称		「地域住民としての生活向上に向けた日本語教室」							
	取組の目標		平成27年度に取組んだ日本語教室で、草津市の3つの日本語教室間のコミュニケーションが進み合同教室の開催迄こぎつけたし、外国人のニーズに合った教室開催が出来るようになった。今後は3教室間の日本語教育支援者の交流を図るとともに、市内の他団体との協力関係を構築し、共催による教室運営を進めて行き、教室活動を拡大していく事で、より幅広い人材に外国人に対する日本語教育の必要性を認識してもらえるように進めて行きたい。 地域性を大切にして学習者同士の交流を促進していきたい。							
	取組の内容		今年度は「ネットワーク会議」の中で、もう一度原点に帰り外国人の目線より見て、平成27年度の実績よりの改善点を踏まえた新たな取組内容を決めた上で、新たな日本語教育の教室をデザインします。 具体的には各教室の特性を生かした教室運営を行います。 KIFAは中上級向けの教室と、外国人と一緒に体験しながら直接日本語を学ぶ教室を行いました。その教室では草津市内で生活するうえで必要となってくる、ゴミ焼却設備見学、給食センター見学などの実体験プランを行いました。 オリーブ教室も、敬語などを学ぶ中上級教室と、生活体験に基づく体験型教室の運営を行いました。							
		空白地域を含む場合、空白地域での活動								
	取組による体制整備		平成27年度事業では各教室共に新規受講者が生まれました。今年度はより必要性の高い層の参加者を募り「生活者としての日本語教室」としての位置付けを強化し、草津市内の各団体との連携を深め、草津市内の日本語教室の体制強化、及び多文化共生の土台作りの為の、日本語教育支援者と学習者の信頼関係の構築を図っていきます。							
	取組による日本語能力の向上		取組の内容にも記したように、通常生活する上に必要な日本語を学ぶことを主体とします。 地域社会に溶け込みにくい外国人が、今回の受講を通して日常生活をしながら日本社会に適応していく上での基本情報を学習してもらいました。 そのことにより地域社会への順応が進み、更なる日本語学習への取組意欲のなると考えます。							
	参加対象者		日本語教育に関して意欲のある外国籍住民				参加者数 (内 外国人数)		540人 (284人)	
	広報及び募集方法		広報「くさつ」、草津市国際交流協会のホームページ、チラシ作製により関係者への広報							
	開催時間数		総時間 76時間(空白地域 時間)							
	主な連携・協働先		草津市役所関係部署、草津市未来研究所、草津コミュニティ事業団、行政機関関係者(滋賀県警察本部)							
	開催場所		草津まちづくりセンター、草津市民交流プラザ、立命館大学							
参加者の出身・国別内訳(人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
		148	54	6	12	20	18		12	
		台湾(2人)、バングラディシュ(12人)、日本人(256人)								
実施内容										
【KIFA:中・上級教室(日本人の生活と心を知ろう編)】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年6月18日(土) 10:30～12:30	2	立命館大学 コラーニングⅢ	12	本音とたてまえ	1. 本音とたてまえの言葉の意味の理解 2. 使いかたの事例学習 3. 会話の練習		中西 まり子	西川 真由美 竹井 治	
2	平成28年7月2日(土) 10:30～12:30	2	立命館大学 コラーニングⅢ	10	俳句入門	1. 俳句の説明 2. 5音、7音の練習 3. 俳句を作る実習		中村 ケンジ	草川 たづ子 高市 寿美子	
3	平成28年7月16日(土) 10:30～12:30	2	立命館大学 コラーニングⅢ	15	日本語の成り立ちと不思議(百人一首の恋愛感情)	1. 百人一首の中での日本語の役割 2. 恋愛に表される日本語		江藤 沙織	田中 京子 高市 寿美子	
4	平成28年7月23日(土) 10:30～12:30	2	立命館大学 コラーニングⅢ	11	敬語とマナー	1. 尊敬語及び謙譲語の違いについて 2. 会話の中での敬語の使いかたとマナーの話		丹羽 昌子	田中 京子 高橋 小百合	
授業時間		8								
【KIFA:日本語を使っての体験教室(草津を知り、地域の日本人と語り、一緒に活動しましょう)】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年7月2日(土) 13:30～15:30	2	立命館大学 セントラルアーク	37	防災を学ぶ	1. 防災の知識 2. 機能別消防団の役割 3. 消火器の使いかた		草津市役所 危機管理課	Phong 刘 芳彤 Liu Ge	
2	平成28年7月2日(土) 13:30～15:30	2	立命館大学 セントラルアーク	35	交通安全を学ぶ	1. 交通ルールの知識 2. 自転車運転時の注意事項 3. 交通ルールクイズ		草津警察署 交通安全係	西川 真由美 竹井 治 高市 寿美子	
3	平成28年7月13日(水) 10:00～12:00	2	草津市大路 市民センター	19	ママ友との付き合い方	外国人ママと日本人ママが子育ての悩みについて相談し合う場		大江 千恵	田中 京子 中西 まり子 檜川 久美子	
4	平成28年7月29日(金) 10:00～12:00	2	草津市青地町 (青地邸)	35	伝統的日本家屋見学とお茶をたしなむ	草津市の旧家を訪ねて、伝統的な日本家屋を見学する。 同時にお点前を楽しむ		青地 吉継	廣瀬 正史 田中 京子	
5	平成28年8月9日(火) 9:00～12:00	3	琵琶湖博物館 あおばな館	33	草津の自然と農業に親しむ	1. 琵琶湖博物館で琵琶湖の自然を知る 2. あおばな館で草津の農業を知る		草津市役所 まちづくり協働課	長岡 久美子 川辺 佐登美 田中 京子	

6	平成28年9月9日 (金) 9:00～12:00	3	市民交流プラザ 調理室	21	飾り巻き寿司作り	「花」と「ペンギン」の巻きずしを作った 外国人も日本語でコミュニケーションの 練習が出来た	伊藤 和美	草川 鶴田 たづ子 真理子
7	平成28年9月14日 (水) 10:00～12:00	2	市民交流プラザ 和室	24	ママ友との付き合い方	外国人ママと日本人ママが子育ての 悩みについて相談し合う場	大江 千恵	鶴田 真理子 川辺 佐登美 中西 まり子
8	平成28年10月18日 (火) 9:00～12:00	3	ごみ処理場 給食センター	31	草津で生活する上での 必要施設見学	生活するうえで必要な施設のごみ処理 場と給食センターを見学し、知識を 広めた	草津市役所 まちづくり協働課	鶴田 真理子 川辺 佐登美 長岡 久美子
9	平成28年11月17日 (木) 10:00～12:00	2	草津小学校	16	小学校生活の見学	小学校を見学し、タブレット授業の様子 と給食の様子を見学した	糠塚校長先生	田中 京子 高市 寿美子 高橋 小百合
10	平成28年11月23日 (水) 13:00～15:00	2	草津武道館	14	剣道体験	草津武道館で行われた剣道まつりに 参加し、日本武道を教えてもらった。 防具を着けての剣道体験	草津剣道協会	西川 真由美 檜川 久美子 草川 たづ子
11	平成28年12月5日 (月) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	18	日本舞踊とマナー	日本の伝統文化に触れるために、着 物を着る事と、着た時のマナーを学ぶ	音羽 菊女治	檜川 久美子 川辺 佐登美
12	平成28年12月10日 (土) 10:00～12:00	2	市民交流プラザ 会議室	22	防災訓練	機能別消防団による防災訓練を体験 する	草津市役所 危機管理課	西川 真由美 休石 信子 内田 幸夫
13	平成29年1月12日 (木) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	16	書道体験	日本の文化の基本である書道を体験 した。 筆を使っでの体験	三浦 清舟	鶴田 真理子 内田 幸夫
14	平成29年2月11日 (土) 10:00～12:00	2	草津市内	19	草津まち歩き	草津市内の本陣、街道交流館、太田 道灌酒造を訪れ草津の歴史と文化を 学んだ	高橋 小百合	休石 信子 草川 たづ子
授業時間		31						
【オリーブ:生活するための知恵(実践形式教室)】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年6月5日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	5	自己紹介	自己紹介の仕方と実習	堀野 善康	豊村 信良 中須賀 剛
2	平成28年6月12日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	7	買い物の仕方	スーパー・コンビニでの買い物の場を 想定しての会話を習い、それを実習 する	堀野 善康	豊村 信良 中須賀 剛
3	平成28年6月19日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	5	切符を買う	JRの駅での買い方や、その時の会話を 習い、それを実習する	堀野 善康	豊村 信良
4	平成28年6月26日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	8	申込の仕方	申込書の書き方を教える	堀野 善康	豊村 信良
5	平成28年7月3日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	6	服・靴の買い方	店で服・靴を買う場面を想定しての会 話を習い、それを実習する	堀野 善康	豊村 信良 中須賀 剛
6	平成28年7月10日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	7	郵便局で荷物を出す	郵便局でゆうパックや袋を買い、出す までの手順を学び、それを実習する	堀野 善康	豊村 信良 中須賀 剛
7	平成28年7月17日 (日) 10:00～12:00	2	草津まちづくり センター	8	病院の利用方法	1. 救急車を呼ぶ手順を学ぶ 2. 体の各部位の名前を教える 3. 受診までの手順を学ぶ	中須賀 剛	豊村 信良 堀野 善康
授業時間		14						
【オリーブ:日本で生活をより良いものにするための知恵(実践形式教室)】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年6月11日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	8	敬語Ⅰ	1・敬語の5分類 2. ウチ・ソトの概念 3. 演習	田中 三千彦	福井 えり 内田 幸夫
2	平成28年6月18日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	7	敬語Ⅱ	1. 敬語の分類の復習 2. 17の動詞の敬語表現への変換 3. 演習として恩恵表現の学習	福井 えり	田中 三千彦 内田 幸夫
3	平成28年7月9日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	6	俳句	1. 俳句の説明 2. 5音、7音の練習 3. 俳句を作る実習	中村 ケンジ	恩地 美和 内田 幸夫
4	平成28年7月23日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	5	敬語Ⅲ	1. 各敬語の機能の復習 2. 尊敬語、謙譲語への言換え練習 3. 目上に使っていけない事を学習	福井 えり	田中 三千彦 内田 幸夫
5	平成28年8月20日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	7	関西弁Ⅰ	1. 受講者の聞いたことのある関西弁 2. 関西弁の共通語の意味の説明 3. 共通語の動詞の関西弁へん変化	小春 京子	杉山 美子 内田 幸夫
6	平成28年8月27日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	8	関西弁Ⅱ	1. 関西弁Ⅰの復習 2. 関西弁の事例を習い、自分で練習 3. 関西弁での会話の練習	杉山 美子	小春 京子 内田 幸夫
7	平成28年10月22日 (土) 17:30～19:30	2	草津まちづくり センター	9	関西弁Ⅲ	1. 1、2回目の復習 2. 講師の関西弁の会話を聞き学習 3. ペアでの関西弁の会話の練習	杉山 美子	中西 利夫 内田 幸夫
8	平成28年11月13日 (日) 9:30～15:30	6	湖東 川辺いきものの 森	37	オノマトベを使って もっと話そう	1. 事前にオノマトベ(擬音語。擬態 語)の意味の学習 2. 自然の中で、会話を通じた学習	内田 幸夫	恩地 美和 小春 京子
9	平成28年12月18日 (日) 13:30～16:30	3	草津まちづくり センター	20	自分の故郷を 紹介しよう	1. 8名が自分の故郷を紹介 2. グループでの故郷紹介会話 3. その感想を学習者が発表	恩地 美和	中川 正幸 吉田 瑛美
授業時間		23						
取組3授業時間合計		76						

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【KIFA体験教室第4回 平成28年7月29日】

KIFA会員で代々草津に住まわれている旧家の方のご厚意で、その方のお宅を訪ねて日本文化の神髄に触れた。大きなお仏壇のある客間に通され、畳の上に座り日本家屋独特の作りの欄間、襖、障子にじかに触れてその素晴らしさを体感した。又、茶道のお点前を拝見した後、皆で和菓子とお抹茶を楽しんだ。外国の方には非常に興味深い話が続き、興味が深かったのか皆が日本語で疑問点を沢山質問し、交流の輪が広がった。本講座は朝日新聞の取材を受け、翌日の滋賀版に掲載された。



○取組事例②

【KIFA体験教室第1、2回 平成28年7月2日】

立命館大学の学生が主体となり、立命館大学のセントラルアークで開催された七夕まつりには多くの外国人留学生が参加した。KIFAはこのイベントに、「防災教室」と「交通安全教室」の2教室を出し、特に外国人留学生の疑問に答える教室を開催した。「防災教室」は、草津市の危機管理課の方と、草津市で外国人消防団員を任命しての機能別消防団の団員が参加しての防災教室となりました。「交通安全教室」では、草津警察署の交通安全課の警察官の方に来ていただき、特に外国人留学生より要望の高かった自転車の交通ルールについて詳しく説明してもらった。両教室共に外国人留学生が積極的に日本語で問いかける、日本語教育の実践の場となった。



(2) 目標の達成状況・成果

KIFA、オリーブでの日本語教室の開催は76時間となり、非常に好評であった。

オリーブの「関西弁」の教室は、当初1回の予定であったが受講者よりの要望が強く複数回の開催となった。

KIFAの体験教室のうち、市内在住外国人がなかなか見るこの出来ない「給食センター」「ゴミ消去場」の見学を入れたことにより新しい参加者が増えた。小学校の授業風景を見学し、小学生が食べているのと同じ給食を食べる事により、学校生活を体験出来たことにより外国人に好評であった。各回とも沢山の参加者が確保できたことは、この事業の成果と考えられる。

(3) 今後の改善点について

講座式の教室での学習も効果があるが、実体験を通じて日本での生活を経験することの効果は大きいと考えられる。

次年度も講座式教室と体験型教室を上手く組合せ、幅広い外国人の要望に応じて行きたい。

特に今年度事業より、草津市未来研究所が開設したUDCBK(アーバンデザインセンターびわこ草津)で「やさしい日本語サロン」を毎週火曜日に定期的に開催できた意義は大きい。(毎週火曜日10:00～12:00)

このサロンは誰にでも気軽に立ち寄れて、日本語の勉強、日本人との交流とその人にあった活動が自由にできるので好評である。

このサロンと「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を上手く連携させ継続的な、日本語サロンの開催に繋げていきたい。

＜取組4＞

取組4	取組の名称		多文化共生フェスティバル【Worldたぶんカフェ・ファイナル】の開催									
	取組の目標		平成27年度事業では多文化共生シンポジウムを開催して幅広い公知の場を設けたが、今年度はより身近に外国人参加者が幅広い市民との交流の機会が広がることを期待したイベントを企画します。草津市国際交流協会は、恒例事業として毎年1月に「新春のつどい」というイベントを外国人との交流の場を持っているので、この事業と協賛する形で、参加者の幅を広げた「多文化共生フェスティバル」を開催し、その中でワークショップ形式のイベントを企画し日本語教育の必要性を訴えて行きます。									
	取組の内容		今年度は新しい取組として、UDCBK（アンダーデザインセンターびわこ草津）の開設(H28. 10.15)以降にUDCBKと共催の形で、「たぶんカフェ」を3回開催できた。各回のテーマ「外国人ママと日本人ママ」「草津で働く外国人」「留学生の地域貢献」を集大成し様々な視点の方に集まって話し合ってもらったワークショップの開催を計画した。ネットワーク会議に草津市議員が参加して頂いたことにより、その方を通じて、議会事務局に働きかけ多くの市会議員がワークショップに参加してくれた効果は大きい。来賓に草津市長、草津市議会議長にも参加いただき、新聞社も2社より取材を受けるなど、日本語教育の必要性を訴える良い機会となった。計画時点で「外国人会議」として位置づけた内容に関しては、ワークショップの3テーマに沿って参加外国人が生の声で市会議員、行政担当者に話すことが出来たことにより行政へ日本語教育の必要性を訴えられたことの効果は大きかった。									
		空白地域を含む場合、空白地域での活動										
	取組による体制整備		この取組により、外国人に対する日本語教育の重要性を、広く一般市民、行政職員、関係団体メンバーに知らせる事が出来ると同時に、現在活動中の「オリーブ」「シブス」「草津市国際交流協会」の日本語教室の必要性への理解も進み、支援者・理解者の増加が期待できます。市会議員が参加してくれたことにより、他団体とのネットワーク作りに効果があったのと同時に、行政への働きかけの効果も大きくなることが期待できます。									
	取組による日本語能力の向上		幅広い市民に「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の必要性の認識が高まったので、3教室が行なっている日本語教室への理解が深まった									
	参加対象者		滋賀県議員、草津市議員、日本語教室参加の外国人及び幅広い層の一般市民					参加者数 (内 外国人数)		65 人 (15 人)		
	広報及び募集方法		広報「くさつ」、草津市国際交流協会のホームページ、草津市記者クラブへの投稿									
	開催時間数		総時間 2.5 時間(空白地域時間)									
	主な連携・協働先		草津市議会事務局・草津市まちづくり協働課・秘書課・滋賀県国際協会・立命館大学									
開催場所		草津まちづくりセンター										
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル			
		7	3	1		1	1					
		バングラディシュ（1名）、アメリカ（1名）										
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容			指導者名	補助者名		
1	平成29年1月15日 (日) 10:00～12:30	2.5h	草津まちづくりセンター	65	たぶんカフェ内容説明	前年行われた3回のたぶん・カフェの内容を話し、今回のワークショップと討議テーマを明らかにした			南 啓次郎 中西 まり子 恩地 美和 宮下 聖史 森田 紀美 溝内 辰夫 坂居 雅史 大江 千恵 鶴田 真理子	香西 彩子 吉川 真美 市原 義明 早佐 美希 西川 真由美 久保 千草 山口 陽子 治田 美希奈 田中 京子 Jie Zhang Jhozie Caivo Liu Ge		
第1回ワークショップ	①「外国人ママの日本人ママ」(子育て) ②「草津で働く外国人と日本人」(働く) ③「草津で学ぶ留学生と地域の人々」(暮らす)											
第2回ワークショップ	の3テーマに則り、7つのテーブルに分かれ各テーブルのファシリテーターの指導で行った											
第3回ワークショップ	ワークショップ毎に参加者が変化する形式で進めた											
内容発表	7人のファシリテーターよりグループ討議の内容の発表があった											
講評	イベント全体の内容についての講評											

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例

【平成29年1月15日】

平成28年10月より3回に渡りUDCBKが開催した「たぶんカフェ」の集大成の位置付けてこのWorldたぶんカフェ・ふあいなるを行なった。3回のたぶんカフェのテーマ、「子育て世代の外国人ママとの交流」「草津で働く外国人」「草津で暮らす外国人留学の地域貢献」を「子育て」「働く」「暮らす」の3テーマに分けてWorldカフェ形式でのワークショップを行った。特に今回はネットワーク会議の委員にもなっていただいた議員の働きかけで、草津市議会議員24名中12名が参加いただきました。草津市長、草津市議会議長も来賓挨拶の後、1部ですがワークショップに参加いただきました。取上げられたテーマは、生活者としての外国人には身近なテーマであった事もあり、参加してくれた外国人は事例発表、ワークショップでも積極的に参加してくれました。



(2) 目標の達成状況・成果

1年間の活動の集大成と位置付けて開催したが、参加者も幅広い方々に参加頂けし、ワークショップも「子育て」「働く」「暮らす」と生活者としての外国人にとっては身近なテーマを取り上げたので、議論が活発に行えその成果は大きかった。ワークショップのファシリテータ、書記に草津市役所の多くの部署の職員の方々が参加してくれたことは大きく、行政との連携も大きく進んだ。

(3) 今後の改善点について

今年度事業で草津市役所の各部署との連携が進んだと考えられる。次年度は滋賀県の関係部署との連携を進める事を主眼に、ネットワークの拡大を図りたい。1年目はシンポジウム、本年度はセミナーの形で開催してきたが、次年度はフォーラムの形で開催し参加者の意見をより大きく表明してもらえ場としていきたい。又、参加者も幅広い方々に参加して貰えるようにしていきたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

平成27年度に引き続き日本語教育の側面から多文化共生の推進に取組みました。今年度はその事業を継続し、昨年度出来なかった課題を拾い出すのと同時に、外国人住民の声を拾い上げ行政に繋いで行きました。又、草津市内の日本語教育運営体制の整備を確実にし、市内各団体との協力体制を構築しました。行政の協力体制を整備するために広く市民への公知に重点を置きました。日本語教育を中心とした多文化共生を推進していくために中心的役割担当部署を明確にし、多面的な連携をネットワーク化しました。さらに日本語教育支援者の教育を充実させていきました。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

4つの取組み共に当初計画値は達成できたと考えます。運営委員会、ネットワーク会議は共に4回の計画に対して5回開催でき充実していた。日本語支援者研修会も計画通りに実施できた。生活向上に為る日本語教室は、計画以上に開催でき多くの参加者が集まり、「やさしい日本語サロン」と言う新しい取組も生まれた。集大成のセミナーについては滋賀県よりの後援を受け、その効果もあり計画以上に多くの幅広い人材参画の効果があった。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域に住む外国人も留学生を含んだ幅広い人に参加頂いた。又、大学(立命館大学)との関係も増えたのは勿論だが、今回の事業の最大の成果は行政(草津市役所)との関係が各部署で行われるようになった事と考えられます。特に多くの草津市議会議員がセミナーに参加して頂いた効果は大きい。

(4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

各取組は、広報くさつに掲載して幅広く市民の方に広報が出来て参加者獲得の効果はあった。又、草津市国際交流協会(KIFA)のホームページに掲載することにより広報の徹底を図った。取組4Worldたぶんカフェ・ファイナルは滋賀県の後援を受けた効果は大きかった。

(6) 改善点、今後の課題について

県レベルでの交流のネットワークを広げて本事業を定着させていきたい。滋賀県、草津市との行政の連携を深めると同時に、滋賀県国際協会、他の市町村国際交流協会との連携を深めて行きたい。

(7) その他参考資料